

森のおくりもの9月



ヤマハギ（マメ科）



来る日も、来る日も雨が降り、とうとう36日連続という新記録にまでなりました。そんな中でも、雨の切れ間には、大きなチョウたちが一斉に、蜜をもとめて花から花へ飛びかう姿を楽しめました。久しぶりの青空はすっかり秋の空になっています。過ぎた夏を惜しむかのようにセミがまだ鳴いていますが、主役は秋の鳴く虫たちへと移っています。秋の草花たちが次々に咲き、集まる虫たちも活発です。さわやかになった森を楽しみにおいでください。

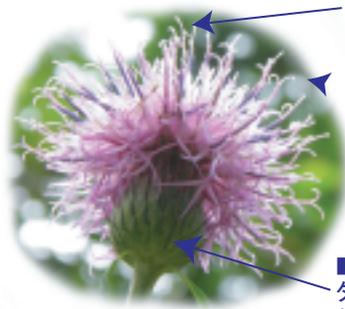
【写真・文 早坂 徹】

ナンブアザミとタムラソウ



夏が終わると観察の森には、ノギクをはじめキク科の花が沢山咲きはじめます。なかでも、目立つのは背の高いピンク色の花を咲かせるアザミでしょうか。ここではナンブアザミやサワアザミが咲きます。ナンブアザミに混じって、似ているけどアザミではないタムラソウも咲いています。今回はこの2種類を比べてみました。

タムラソウ

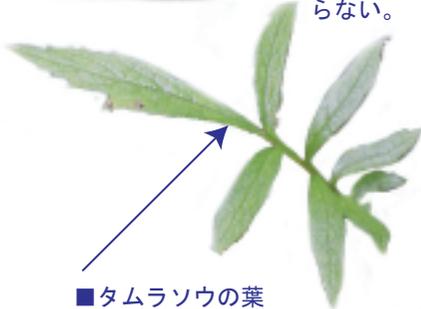


■すべて管状花で、舌状花はない。

■めしべの花柱の先が2つに分かれて反り返る

■総苞片の形が違う。タムラソウは反り返らない。

■タムラソウの葉は棘がなく、触っても痛くない。



ナンブアザミ



■ナンブアザミの葉には棘があり触れると痛い。気を付けて！
■葉の形に変異があり、深く裂けないものもある



似てるけどちがう

花に触ると

昆虫がアザミの花に触れると、花の先に白いものが湧き出てくるように現れます。花が刺激を受けるとおしべが下がって、花粉（白いもの）が出てくる仕組みになっているのです。花粉はべとべととしていて、花を訪れた虫の体について運ばれます。アザミを見かけたら指で花をなでてみましょう。もこもこもこっと花粉が出てくる様子が見ていて面白いですよ。

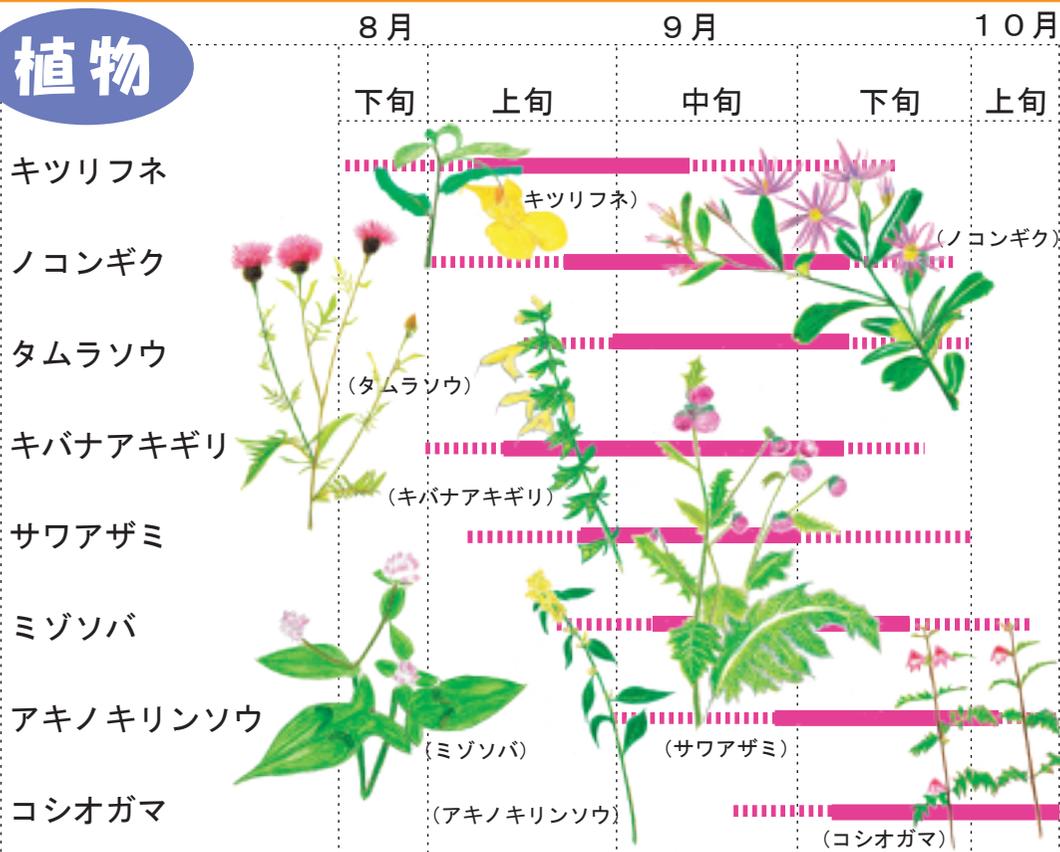


【レンジャー：黒川周子】

* タムラソウの別名：全体像をほうきに見立てて、「タマボウキ」と言われる。

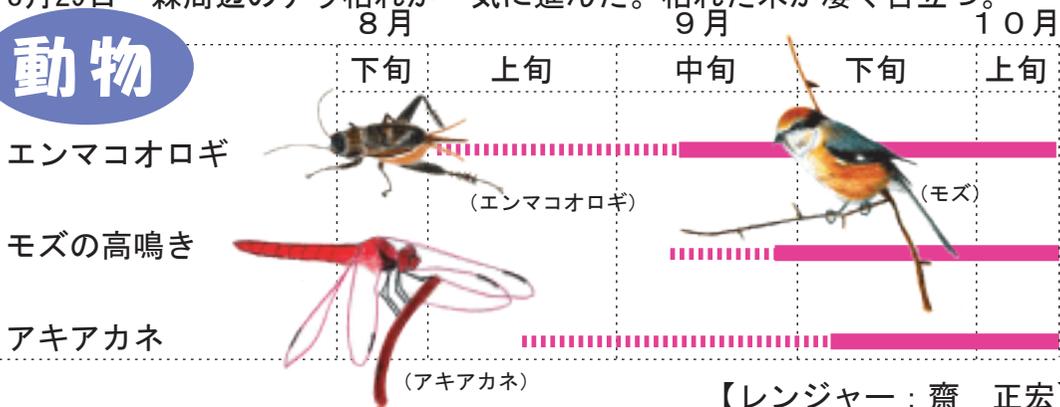
9月の生物ごよみ

植物



- 8月 4日 トンボの沢でキツネノカミソリが咲き始める。
- 8月 6日 センター前のエノキにオオムラサキが卵を産んだ。
- 8月10日 いこいの道のクヌギでカブトムシが樹液を吸っていた。
- 8月13日 センター前のエノキに産んだオオムラサキの卵が孵化した。
- 8月22日 やすらぎの道でチッチゼミが鳴き始める。
- 8月29日 森周辺のナラ枯れが一気に進んだ。枯れた木が凄く目立つ。

動物



【レンジャー：齋 正宏】



レンジャーの森の雑記帳



夏にガイドで大勢の高齢者グループと太白山まで一緒させてもらった。疲れた表情の参加者もいたが、皆でそこまで登り切った安堵感に包まれている。リーダーらしき人が全員に向かって声をかけた。「さあ、みんなで生きているうちに記念撮影をしよう」



その声掛けに全員から一斉に笑い声が起こる。誰一人として欠けていないいつもの顔ぶれ、何気なく交わした会話も、その瞬間、その夏だけの記憶として参加者の心に残るのだろう。生きているうちにという言葉は可笑しくもあり深い言葉でもあった。森に暮らすあらゆる生命たち、懸命に成虫になろうと生きる小さな幼虫、ひと夏限りの命を謳歌するように鳴く蝉、風に吹かれざわめく樹々、策川の変わらぬ水音、夏の儂さも力強さも混沌さも妖しさも人を魅了し惑わせる。だからこそ夏の終焉はひときわ輝くのかもかもしれない。

「ほら、これ食べな」別れ際に参加者からもらった飴を頬張りながらその言葉を想い帰路についた。

【レンジャー：阿部正明】



季節を感じて楽しむ

森の 七十二候

第6回



1年中いるのに秋の季語にもなっているセキレイですが、その昔は秋になると北の地方からやってくる冬鳥だったそうです。セキレイも地球温暖化の影響を受けて、生態が変化したようですね。

セキレイは日本書紀にも登場し、古くから人間とのかかわりがある鳥です。「恋教鳥（こいおしえどり）」という素敵な異名は、日本書紀の日本神話に出てくるイザナギとイザナミが性交の仕方がわからなかったところにセキレイが現れ、尾を上下に振る動作を見て性交の仕方を知ったという伝承からきているそうです。セキレイがいなかったら、日本の国も私たちもいなかったかもしれません。

セ
キ
レ
イ
な
く
鶺鴒鳴く

9月12日から
16日ごろ

観察の森では、通年ハクセキレイが観察できます。駐車場や芝生広場、筑川の河原によく来ています。セキレイの仲間としては、セグロセキレイやキセキレイも時々出会えます。

セキレイの仲間は、日本神話にでてきたように少し長めの尾羽を上下にピクピク動かすのが特徴です。地面での移動は、左右の足を人間のように交互にくりだし歩きます。歩くというか走るというか結構速い足の運びです。飛び方はヒヨドリのように波状に飛びます。

ハクセキレイは警戒心が低いのか、結構近くまでチョコチョコ歩いて近づいてきたりします。また、すぐ傍まで行っても逃げなかったするので、駐車場などでかわいい姿を是非観察してみてください。

【レンジャー：遠藤和子】



キセキレイ



ハクセキレイ



9月のイベント & お知らせ

◆秋の虫むしめっけ♪

9月16日(土) 10:00 ~ 11:30

- ・未就学児と保護者の方を対象にした自然観察プログラムです。昆虫の見つけ方、捕まえ方を体験します。

【定員】15名(未就学児とその保護者)

【持ち物】帽子、長袖・長ズボン、飲み物、虫よけ、雨天時は雨具(カッパ)
※捕虫具は不要です。

【申込み】9月6日(水)午前9時から電話で受付〔先着〕



◆館長と森を歩こう

9月24日(日) 10:00 ~ 11:30

- ・森の植物や生き物について楽しく解説します。

【申込み】不要 直接会場へ

◆森コン 森の出会いがはじまりに

9月23日(土・祝) 10:00 ~ 15:00

- ・自然観察とネイチャーゲームで参加者同士の親交を深めます。イベントの中では匿名(ニックネーム)での参加となります。

【対象】30代40代の独身男女

【定員】男女各10名程度

※どちらか2名未満の場合は中止

【持ち物】昼食 身分証明書

動きやすい服装と靴



雨天時は雨具(カッパ)

【申込み】9月18日(月)〔必着〕

E-mail又は往復はがきに

①住所②氏名③生年月日④電話番号

⑤ニックネーム(好きな動植物の名前)

をご記入してください。

毎週日曜は

『ガイドウォーク』の日!

9月の開催日は

3日、10日、17日、24日です。

開催時間: 10:00~11:30

13:30~15:00

今月のガイドウォークのテーマは

「秋の草花と虫たち」



森のちいさなアトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。

きのこのマグネット



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

9月の休館日

4日、11日、19日、25日



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 7番のりば 乗車時間 約40分
- ② 長町駅東口 3番のりば 乗車時間 約30分
- ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約10分

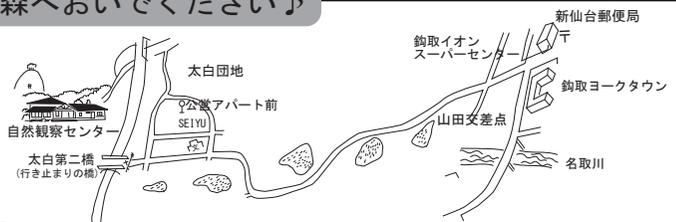
【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由山田自由ヶ丘ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」バックナンバーはWebでチェック!

2017年9月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail:taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>